

## 県重宝「旧坪田家住宅」の対応状況について

### 1 経過及び現状

月 日	実施内容
2月24日	旧坪田家住宅の約半分が雪の重さで倒壊している状況の確認 (3月6日報告済)
3月21日 4月17日	伝統建築の専門家である月舘敏栄氏(元青森県文化財保護審議会委員)による現場確認
4月24日	倒壊した部分から残存する建物に風雨が進入しないよう、開口部を塞ぐ応急措置
7月3日～ 8月4日	緊急対策業務(委託)として、専門家の指導の下、倒壊部分の解体、部材や展示品の回収、旧大栄小学校への解体部材の移送搬入、及び残存部分の補強・養生を実施

#### 【現場の様子】



解体工事前  
(6月3日撮影)



解体・補強後  
(8月4日撮影)

### 2 今後の対応について

- ・解体部材の計測・写真撮影、位置特定の調査
- ・庁内関係課で構成する連絡会議の設置、復元等の検討

#### 参考：県重宝「旧坪田家住宅」の概要

【指 定】	平成14年に県重宝に指定
【構 造】	木造平屋一部中2階建、寄棟茅葺屋根（よせむねかやぶきやね）
【延床面積】	206.28㎡
【由 来 等】	江戸時代末期に浪岡大字王余魚沢（かれいざわ）にあった農家住宅を平成4年に中世の館敷地内に移築